

今回のテーマ

コストダウンを考えましょう



今回は、保障そのものを安く買うことについて考えてみましょう。
 生命保険の本来的な目的＝保障を得るのに最低のコストで加入する方法はいかに？
 現在では、各保険会社からさまざまな保険商品が提供されています。
 その一部を紹介しますので、ぜひご参考にしてください。

＊ 保険料が安くなるのは、なぜ？

- ① 健康状態の良好な人を対象として保険料を割り引く
- ② タバコを吸わない人を対象にして保険料を割り引く
- ③ 保険の仕組み上発生する解約返戻金をなくす等の方法で保険料を割り引く
 などの手法を用いて、通常に加入される場合の保険料よりも安い保険料で同じ保障を得ることができるのです。

＊ 具体的にどのくらい安くなるのでしょうか？

それでは、実際の保険料を調べてみましょう。
 保険会社によりそれぞれ保険料を設定していますので、単純に比較することは、なかなか難しいのですが、下記のような結果となります。

例 ① 健康体と非喫煙者を併せ持つ保険会社の場合
 40歳男性 が定期保険（10年満了）5,000万円に加入された場合

	月払保険料	割合
通常の保険料	16,100円	100.0%
喫煙者かつ健康体の場合	13,500円	83.8%
非喫煙者かつ健康体の場合	11,350円	70.5%

例 ② 解約返戻金「0」とする保険会社の場合
 40歳男性 が定期保険（60歳満了）5,000万円に加入された場合

	月払保険料	割合
通常の保険料	25,000円	100.0%
無解約返戻金タイプ保険料	22,850円	91.4%

＊ポイント：現在、各保険会社がいろいろな方法を利用して顧客の獲得に努めています。

ご自身にマッチした有利な生保加入を検討されてはいかがでしょうか？

今回は、各社で扱う変化のある保険を取り上げてみました。
 実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。
 生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。
 具体的なお相談に応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 渋谷 洋子